



昭和 41 年開院当時の外壁のモニュメントと記念碑

- 直腸がんで注目の手術「TaTME」とは
- がん患者さんのリハビリを学ぶ
研修に参加しました

2月
2022

直腸がんで注目される 経肛門的腹腔鏡下手術(TaTME)とは

広島大学病院防府消化器病センター
内視鏡外科講座 准教授 / 消化器外科部長

奥田 浩



難易度が高い、直腸がんの内視鏡手術

当院では、大腸がんの患者さんに対して内視鏡手術を行っており、年々増加傾向にあります。日本内視鏡外科学会の全国アンケート調査によれば約80%が内視鏡手術で行われています。

しかし、肛門に近い直腸にできたがんの手術は、以下の理由で難易度が高いとされています。

- ①直腸は骨盤に囲まれているため、手術操作を行う空間が狭い
- ②排尿や（男性の場合）性機能に関する神経も近く、損傷させる懸念がある
- ③肛門側（がんと肛門の間）はがんから2~3cmの距離を取って腸を切る必要があるが、骨盤の狭い男性、内臓脂肪の多い方、腫瘍が大きい場合は、骨盤や脂肪、腫瘍が妨げとなり、肛門側の距離を適切に確保することが難しく、特に難易度が高い

つまり、がんとの距離が近すぎると、がんを取りきれたかどうか、根治性が問題となり、がんとの距離が離れすぎると肛門との距離が近づき、永久人工肛門が必要となる可能性が出てきます。

お尻から治療を行う手術で、永久人工肛門の回避も可能に

そこで、注目されているのが、「経肛門的直腸間膜切除(TaTME)」という、肛門から内視鏡と鉗子を挿入し、直腸と直腸間膜を切除する手術です。骨盤の深い場所は、肛門からは非常に近く、さらに内視鏡で見ながら適切な切除の場所を決めることができるため、がんからの距離を確実にかつ過不足なく取ることができます。逆に、腹腔側からは最も遠いため、内視鏡では難しくなります。

TaTMEは、根治性、安全性、肛門温存率の向上とともに、腹腔側と肛門側、2つの手術チームで同時に手術を進行することで手術時間の短縮にもつながります。

当院では現在、日本内視鏡外科学会の内視鏡外科技術認定医（大腸）が2名在籍しており、腹腔側と肛門側の双方で技術認定医が手術を行う体制が整っています。

ただし、TaTMEは、すべての直腸がんに対応するわけではなく、がんの進行度やがんと肛門との距離などで異なります。TaTMEの適応について疑問や質問があればご相談ください。

TaTMEにより、永久人工肛門を必要とする患者さんが少しでも減ることを期待しています。



がん患者さんのリハビリテーション研修に参加しました

多職種が連携してチーム丸となって支援しています



voice

がんの診断を受けた時からリハビリを 消化器外科 釘宮 成二

我々医師は、病気を治すことが使命の一つではありますが、患者さんやご家族がより良く生活できるように支えていくことも非常に大切に考えています。しかしながら、消化器がん罹患してしまうと、QOLの低下をきたしてしまいます。たとえ、手術でがんを根治できても、体力・意欲の低下、食事量の減少など、術前よりも生活の質が落ちることがあります。

より良い明日のために、医師としては、低侵襲治療（腹腔鏡手術や内視鏡手術）の確立、術後合併症の撲滅に励んでおります。それと同じくらい重要なこととして、注目されていることが、がんリハビリテーションです。がんと診断されたその時から、リハビリを行うべきです。そこには、食事・栄養や運動のみならず、精神的なサポートも含まれています。手術前からのリハビリ介入で生命予後が延長することや、術後の体重減少や筋肉量低下が生命予後を短くすることなど、リハビリの重要性を強調される報告が最近多くあります。また、周術期のみならず、抗がん剤治療中や終末期においても適切なリハビリを行うことで、より充実した時間が過ごせると考えます。

当院では、医師、看護師、栄養士、リハビリスタッフ、病診連携スタッフなど多職種がカンファレンスで共通認識をもち、連携してがんリハビリに励んでいます。リハビリには患者様のご理解・ご協力も必要となります。ご不明点がありましたらいつでもお声がけください。

患者さんの希望に応じて柔軟に 緩和ケア認定看護師 藤瀬賀奈子

術前から顔の見える関係を築き、早期にリハビリテーションを開始することが術後の不安を軽減し、合併症の予防にも効果です。オンライン開催でしたが、全国の医療従事者と意見を交わし、地域性や各病院の機能に応じた私たちの役割について考えました。患者さんの希望はさまざまです。医療従事者の職種も多様で、培ってきた経験もさまざまです。がんをもちながら生きる患者さんが自分らしく過ごせるよう、患者さんの思い、必要としている支え、病期や個別性に応じた介入を、多職種と協働し、柔軟に支援していきたいと思えます。

リハビリテーションの立場から 理学療法士 林瑞恵・言語聴覚士 神田広美

がんと共存する時代の新しい医療のあり方として、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれ専門的視点から周術期～終末期までのリハビリテーションに取り組んでいます。患者さんは、がん治療の過程で身体的および心理的な制約を受けますので、手術の前と後、病状や治療法、機能障害の特徴に応じて個別性を重視し、効率よく安全にリハビリテーションを実施して、QOLの向上につなげています。がんを患っても患者さんが望む生活を送ることができるよう、多職種連携しチーム一丸となって、家庭や社会に早く復帰するお手伝いをしています。

Information



お知らせ

4月から土曜日は
休診となります

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8:00~11:00	8:30~
	午後(火・水)	13:30~16:30	14:00~
土曜日	午前	8:00~11:00	8:30~

2月の外来診療予定表

診察室	月	火	水	木	金	土	
午前	1診	三浦	-	三浦	-	三浦	交代制
	2診	外山	-	-	外山	外山	
	3診	釘宮	奥田	釘宮	奥田	奥田	
	5診	-	竹尾	竹尾	竹尾9:00~	-	交代制
	6診	藤原9:00~	宮寄	宮寄	藤原(※1)	佐伯	
	肛門外科	-	-	-	-	竹尾(再診)	
午後	2診	-	-	外山(※1)	-	休診	
	3診	-	奥田(※1)	-	-		
	肛門外科	竹尾	-	-	日高(※2)		

※1 都合により代診になる場合があります。

※2 肛門外科は13:30より初診・再診の外来診療を行っております。

- ・手術や処置が入ることがございます。お問い合わせください。
- ・土曜日の診療は、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
- ・出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。

Access



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL: 0835-22-3339 (代表)

H P: <https://www.hofu-icho.or.jp>



公式サイト



instagram

■交通機関のご案内

【電車】JR 防府駅よりバス2分(防府市役所前下車)

またはJR 防府駅より徒歩10分

【バス】防府市役所前下車

【お車】山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから10分

Editorial Note

この時季になると、毎年のように節分のありがたさを実感します。心機一転、新たな目標に向かって決意を固めたところ、仕事始めから怒涛のように過ぎていく毎日に、あれよあれよと呑み込まれます。萎えかけた心に射すのが節分の光明です。再びチャンスをいただけて感謝です。いよいよ本格的に寅年が始まります。そして今年は壬寅(みずのえとら)。コロナウイルスで人類が進化するかどうかはわかりませんが、感染対応で積み上げた経験で、きっと安定と決断の時に繋がるでしょう。事務局長 栗林左知